

高倉さん国際物理オリンピック金メダル！

皆さんは「国際物理オリンピック」というものをご存知でしょうか。これは世界中の主に高校生以下の若者が参加して物理の能力を競い合う、国際的な物理のコンテストです。1967年、ポーランドでの第1回大会以来ほぼ毎年開催され、今年は7月に第38回大会がイランのイスファハンで開催されました。各国5人の選手が出場でき、日本では「全国物理コンテスト・物理チャレンジ」成績優秀者の中から選考されます。

今年のこの国際物理オリンピックで、大阪出身の高倉理(たかくら・さとる)さんが金メダルを獲得しました！実は高倉さんは、小学校5・6年生のときに、大阪市立科学館の「ジュニア科学クラブ」に参加し、科学へ興味を持つようになったということなのです。科学館がそうしたきっかけとなったということは、スタッフ一同も大変うれしく思っています。高倉さんに科学館の思い出や、国際物理オリンピック出場の感想などをインタビューしました。

江越 大阪市立科学館やジュニア科学クラブについて、印象に残っていることや思い出など教えてください。

高倉 毎回プラネタリウムを見て星座の名前を覚えてもらったり、たまに科学館でやっていた科学の祭典などのイベントに立ち寄って、工作をしたり、面白い実験を見せてもらって、なぜそうなるのかを覚えてもらったりしたことです。

江越 国際物理オリンピックの問題は、学校の物理の問題と比較してどのように感じましたか。

高倉 物理オリンピックの問題は、物理の最先端を扱っているけど高校レベル(とちょっと)の知識で解けるようになっていたり、こんなものにまで物理を応用できるのかと感心するような問題もあって、解いていてとても楽しいです。あと実験があります。学校の物理の問題は基礎的な問題が多くてつまらないかもしれませんが、それを身近なことに応用して考えてみると面白いと思います。



写真1. 金メダルと賞状を持つ高倉さん

江越 国際物理オリンピックに参加して海外のいろいろな国の人たちに出会い、どのような印象を持ちましたか。

高倉 物理オリンピックでは、試験以外にも、普段行けないような国の文化に触れたり、英語でいろいろな国の人たちと交流することができました。世界に対する考え方がかなり変わりました。

江越 普段はどのようにして物理を勉強していますか。また物理が得意になる秘訣やおもしろいと思うところなど教えてください。

高倉 ほとんど学校の授業だけで、たまにブルーバックスの相対論の本とかを読んでいました。オリンピックの前には「楽しめる物理問題200選」(朝倉書店)という本をやりました。この本は物理オリンピックの過去問などを集めた本で、面白い問題がたくさんあります。是非読んでみてください。

僕にとって物理の面白いところは、様々な現象を基本的な法則で説明するところです。つまり、なんでそうなるの?という疑問にちゃんと答えてくれるのは物理だということです。物理は科学の基礎なのです。

江越 今後、勉強していきたいことや目標は?

高倉 まだはっきりとは決まってないのですが、物理の研究をして、社会に貢献できたらなぁと考えています。

江越 現在のジュニア科学クラブの後輩たちにメッセージをお願いします!

高倉 皆さんはきっと科学が好きだと思うので、身のまわりで不思議に思ったことや興味を持ったことをどんどん勉強してってください。そして、是非、物理オリンピックに挑戦してください。



写真2. 授賞式の様子

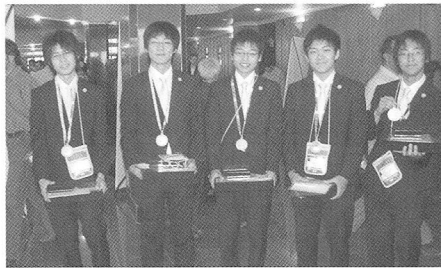


写真3. 国際物理オリンピックに日本から参加した5人(中央が高倉さん)

こうした国際科学オリンピックは物理のほかにも、数学、化学、生物学、情報の各分野で開催されています。皆さん(特にジュニアの皆さん!), 自分の興味のある分野を伸ばし、ぜひ高倉さんに続いてこのようなオリンピックにも挑戦してみてください。

(江越航: 科学館学芸員)